



すすんで学ぶ子  
心豊かな子  
たくましい子

# 中宮

令和5年3月24日  
第646号  
枚方市立中宮小学校  
校長 池原 義人



## 準備が終わり、次が始まります



### 悔しさを自らの成長に活かしてください

卒業式前日の3月16日(木)に、6年生と大縄とび対決をしました。それまでの3月2日(木)6時間目に6年生がクラス対抗で大縄大会を実施し、負けた1組の子達のごく悔しがっていたことから、リベンジの機会と学年再団結をねらいに、教師チーム対6年生の対決という話になりました。もちろん負けてあげるつもりなど全くなく、教師チームも特訓を経て臨んだ対決でしたが、結果は6年生240回、教師チーム236回と6年生に惜敗しました。そのときには、すでに準備していた式辞の内容から、嬉しくもあり、悔しくもありの結果でした。とても楽しいひと時でした。

### -式辞抜粋-

……前略

藤井四段は、将棋盤を抱えるようにして号泣し、母親の裕子さんが、抱きかかえてその場から引き離れた。

対局で敗れると同様の光景が繰り返され、「尋常ではない勝負への執着」に、師匠の杉本昌隆七段も驚いた。

「闘争心の塊」負けた悔しさを、次の対局にぶつけて成長していったと強さの秘訣を明かした。  
(産経新聞 WEST 掲載記事引用)

そうです、あなたたちの、あの悔しさは、真剣に打ち込んだからこそ持てる感情なのです。

そして、成長していく者には、大きな武器となる感情だったのです。

大切にしてください。

あの悔しさを自らの成長に活かしてください。

決して失わないでもらいたと思います。

後略……

6年生は、前年度末に受けた全国学テ模擬テストで正直ひどい結果でした。しかし、新年度になって迎えた本番のテストでは、府の平均をも上回る頑張りを見せてくれました。大縄でも勉強でも、悔しさを使って成長すること、既に実践してくれていました。

今、学校はとても落ち着いた環境のなか、学習活動を進められる状態にあります。最高学年が、どのように学校生活を送っているかが、その学校の学習環境の決め手になります。

前年度の6年生から本年度の6年生へと、学習環境も学力も素晴らしいバトンリレーが続いています。下のグラフは、全国学テ質問紙調査の結果を、極めて成績が低かった平成〇年と、ここ2年を比較したものです。家庭での生活状況が、成績を大きく左右していることが分かります。子ども達が頑張ってくれています。この状況を維持させるのは、

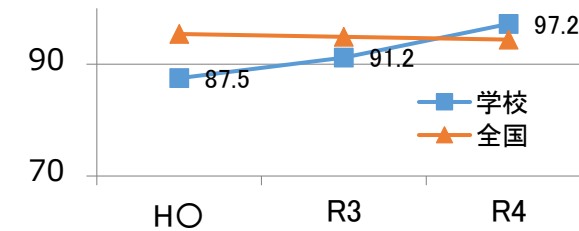
教師と保護者の頑張りとの協力なしには、考えられません。

校長通信644号にてお知らせしていた、「ICT(タブレット)を活用し、復習や反復練習が容易になる対策を検討中」とは、他校で先行実施されていたAIドリルを本校にも導入して欲しいと教育委員会に要望していたことでした。結局、来年度全小学校に導入されることになりましたが、学校では、来年度に向けて既にスタートを切っているつもりです。校内研究教科も、前年度、今年度の積み重ねで府の平均を上回った国語から、未だに超えることのできない算数に変更します。20校近く担当校をもつ算数のスペシャリストを、年間指導講師に招聘することも決定済みです。

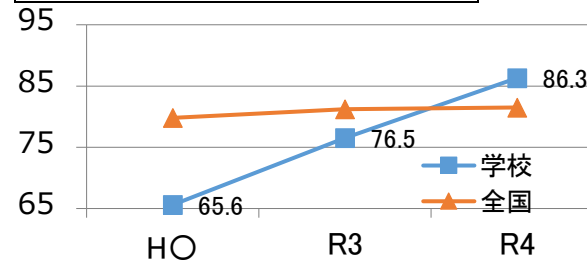
明日から始まる春休み(長期休業)は4月9日(日)に終わり、次が始まるのは4月10日(月)です。中学校へと学習の場所を変える卒業生も、4月に新入生を迎える在校生も、本年度の学習の確認は必ず行わせてください。

### 【全国学テ質問紙調査結果】

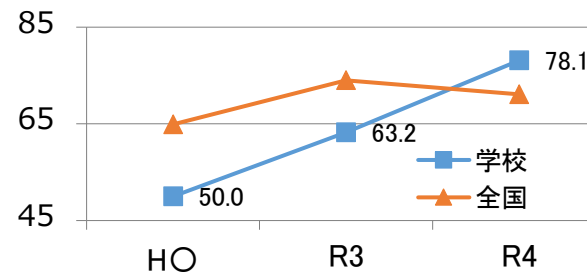
#### 朝食を毎日食べている



#### 毎日、同じくらいの時刻に寝ている



#### 家で自分で計画を立てて勉強していますか



6年生を担当しているとき、卒業前に必ず言っていた厳しい言葉「小学校の勉強が分からないのに、中学校以上の勉強が分かるはずない」、卒業前にこんな屈辱的な言葉を浴びせられ相当悔しかったと思います。でも、それをエネルギーにした教え子はたくさんいました。これまでの全国学力テストの成績は、学力を向上させなければならないという思いにさせる結果でしたが、実は学校としての悔しさを成長に活かせたのかもしれない。

成績不良の悔しさをごまかして済ませたり、悔しさも平気になってしまったりする子どもにたくありません。春休みも勉強をさせてください。